

Rainwear Maintenance

レインウェアのメンテナンスについて

洗濯のサイクル

生地に着着する汚れは目に付きにくいものです。雨風には大気中の様々な汚れが含まれており、それらがウェアに付着します。これを放置することで、はっ水処理や透湿機能の低下という問題が生じてきます。こまめに適切な方法で洗濯することにより、レインウェアが持つ本来の機能を発揮しながら、製品を長持ちさせることにも繋がります。

日頃のお手入れ

使用後は、水分をしっかりと絞ったタオルで表面の汚れを拭き取り、厚手のハンガーに掛けて風通しの良い日陰で十分に乾燥させ、その状態で保管してください。

洗濯は手洗いで

当社のレインスーツは洗濯表示にて「手洗い」を指定しています。洗濯機の使用をお勧めしない理由は生地の構造にあります。レインウェアは表生地の裏面に防水コートを施し、縫製箇所の裏面にはシームテープと呼ばれるもので目止め処理を行っています。このように異なる素材を貼り合わせた構造であるため、洗濯機のご使用は素材の耐久性を著しく低下させてしまいます。



1 洗濯方法

洗濯表示を確認する。製品によって方法や使用できる洗剤の種類が異なるため、事前に必ず確認してください。

2 表示に従った方法で洗濯

手洗いの方法をご案内致します。洗剤は液状の中性洗剤または防水ウェア専用洗剤を使用します。押し洗いやもみ洗いを行ってください。

3 すすぎ

防水生地はすすぎの効果が得られにくいので、通常の生地より長めの時間を取り、十分にすすぐ必要があります。また、洗剤の成分が残ると撥水性が低下する原因となるためしっかりと洗い流してください。



レインウェアのメンテナンスについて

4 乾燥

絞るのではなく生地を押さえる要領で水を切り、乾いたタオル等を使用し、大まかな水分を拭き取ってください。強くこするのではなく、タオルを押し当てるようにすると良いでしょう。その後、直射日光を避け、風通しの良い日陰で乾燥させてください。

5 撥水处理

水の弾きが悪くなったと感じたら、撥水处理を行うことで機能は復活します。

① 撥水スプレーを使う方法

フッ素系の撥水スプレーを全体にまんべんなく塗布してください。一ヶ所に多く吹き付け過ぎるとシミの原因にもなるため、薄く乾燥させながら4～5回に分けて塗布してください。なお、シリコン系の撥水スプレーは表面に膜を形成し、ドライマスター等の素材では透湿機能が損なわれるため、必ずフッ素系を使用してください。

② アイロンを使う方法

温度を最も低く(低80-120度程度)設定し、当て布をして軽くアイロンすることで撥水効果が復活します。生地の重なった段差部分、ファスナーやドロコードの段差部分は強く押さえずに注意してください。アイロンは軽く撫でる程度で、強く当てすぎるとコーティングやシームテープを傷める場合があるので注意してください。

レインウェアを、長くご愛用いただくために

高温多湿を避けてハンガーに

レインウェアは紫外線に弱い製品です。直射日光を避け、湿度が低く風通しの良い場所で、厚手のハンガーに掛けて保管してください。畳んだままシートの下やメットインスペース、パニアケースなど、高温多湿となる場所での保管は、加水分解等の劣化を早める原因となるため避けてください。

常に清潔に保つ

裏面に付着しやすい汗や皮脂等の汚れは、コーティングに使用しているポリウレタンの劣化が促進されます。使用後は定期的に洗濯を行うことで常に清潔に保つことが長持ちの秘訣です。

薬剤に触れないようにする

乾燥剤、防虫剤、消臭剤などの薬品が直接生地に触れないように注意してください。

Rainwear Lineup



DRYMASTER-X コンパクト レインスーツ

ドライマスターX 2.5層コーティングを採用し高い防水透湿性能を備えた軽量&コンパクトモデル。
(RSR042
DRYMASTER-X
COMPACT RAIN SUITS)



DRYMASTER-X レインスーツ

防水透湿DRYMASTER-X採用のハイエンドモデル。強度に優れたリップストップ生地を採用し、ジャケットのような質感を実現。
(RSR043
DRYMASTER-X
RAIN SUITS)



DRYMASTER レインスーツ

性能と価格のバランスに優れた防水透湿モデル。通勤からツーリングまでオールマイティーに対応。
(RSR045
DRYMASTER
RAIN SUITS)



レインバスター レインスーツ

レインウェアの基本機能をしっかり押さえコストパフォーマンスに優れたスタンダードモデル。
(RSR046
RAINBUSTER
RAIN SUITS)

レインウェアには2段階の防水処理が施されています。

- ①雨水を受ける1番外側の生地には撥水加工が施され、水滴が生地に染み込みにくいようにしています。
- ②生地の裏側には特殊なポリウレタンをコーティングし生地を通過した水が身体に触れないようになっています。このように撥水と防水の2段階構成で雨風を防いでいます。また生地と生地を縫い合わせている針穴はシームテープと呼ばれるテープを貼り付ける、もしくは針を使わない圧着方法を使用して水を防ぎます。